



SOJITZ IR DAY 2016  
生活資材本部

2017年1月13日  
双日株式会社  
生活資材本部長  
木ノ下 忠宏



## 目次

### ◆本部概要

### ◆主要事業

### ◆持続的成長に向けて

#### 将来情報に関するご注意

資料に記載されている業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。



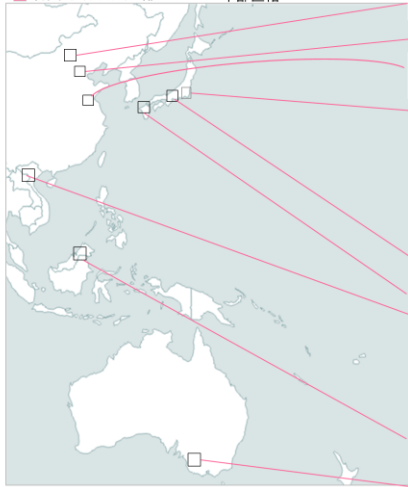
## 本部概要



## 本部概要

### 既存事業 - 主要グループ会社

- 林産資源部
- 繊維事業部
- 物資・ライフスタイル部
- 本部直轄



事業会社数 26社 ※1 従業員数 1,400名 ※2

北京	■ 北京三元双日食品物流有限公司	食品物流事業
青島	■ 青島綺麗双栄製衣有限公司 ■ 青島双発服装有限公司	ジーンズ縫製 シャツ製造・販売
上海	■ 双日繊維(上海)有限公司 ■ 双日奔時代(上海)貿易有限公司	衣料用繊維製品販売 服地加工販売
東京	□ 双日建材株式会社 ■ 双日与志本林業株式会社 ■ 日商岩井紙パルプ株式会社 ■ クイーン植林株式会社 ■ 双日プロモーション株式会社 ■ 株式会社JALUX	建材・製材・住設機器等の商社 製材品・合板等の販売 製紙原料および紙・板紙販売 ベトナムにおける植林・チップ事業 たばこ卸売・小売事業運営 航空・空港関連、顧客サービス商社
大阪	■ 双日ファッション株式会社	服地加工卸売
熊本	■ 第一紡績株式会社	繊維製品製造・販売
ベトナム	■ VIJACHIP Cai Lan Corp. ■ VIJACHIP Corp. (タン) ■ VIJACHIP Vung Ang Corp. ■ VIJACHIP Dung Quat Corp.	製紙用木材チップ製造・植林事業 製紙用木材チップ製造・植林事業 製紙用木材チップ製造・植林事業 製紙用木材チップ製造・植林事業
コタキナバル	■ Sojitz Forest Products (EM) Sdn Bhd.	木材・合板販売
ビクトリア州	■ Green Triangle Plantation Forest Company of Australia	植林事業

※1 事業会社数は2016年9月末現在の連結対象子会社数

※2 従業員数は双日単体及び連結子会社の人員数



Copyright © Sojitz Corporation 2017 4

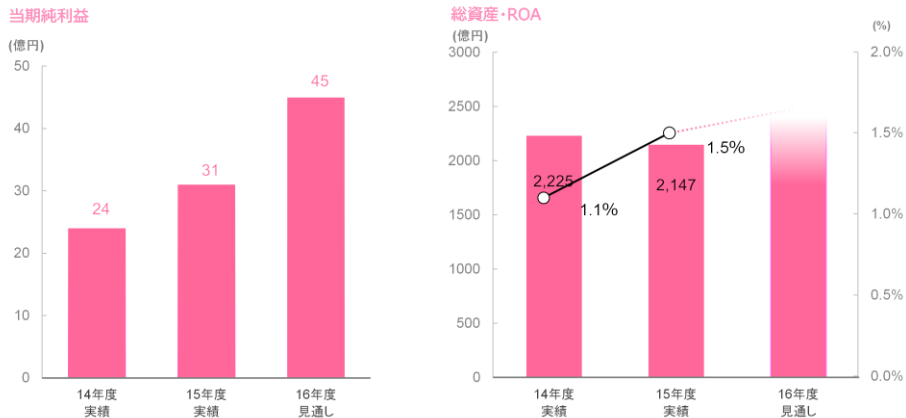
- 当本部は、林産資源部、物資・ライフスタイル部、繊維事業部からなり、2016年9月末現在、本社社員は140名、国内外の関係会社26社と合わせ、総勢1,400名の体制である。
- 関係会社は主に中国・アセアン地域を中心に展開している。中国では主に繊維の縫製事業、日本国内では各方面の事業、ベトナムでは植林及びチップ生産事業が中心となっている。



## 本部方針と業績推移

日本国内及びアセアンで従来のトレード・卸小売り事業の維持・強化を図るとともに  
成長分野での安定収益基盤・資産の拡大を目指す

定量実績・見通し




Copyright © Sojitz Corporation 2017 5

- 本部方針は、日本国内及びアセアンで従来のトレード、卸小売り事業の維持・強化を図ると共に、成長分野での安定収益基盤・資産の拡大を目指すというもの。
- 当期純利益は2014年度が24億円、15年度が31億円。今期は第2四半期決算において22億円の実績となり、通期見通し45億円に向けても順調に推移している。
- 総資産は2,100億円程度で推移。ROAは15年度の1.1%から順調に伸びており、今期は中期経営計画の全社目標2%に近づいてきている。



## 生活資材本部について

- ◆衣食住の「衣」と「住」の分野において、繊維資材、繊維製品、木材製品、紙パルプ、各種消費財という幅広い領域で事業展開
- ◆ライフスタイルの多様化に対応した消費財および産業資材の供給基盤を構築

「衣」	繊維事業部	アパレル 繊維製品		各種衣料品 衣料用繊維製品
	「住」	林産資源部	木材・建材	
製紙原料				針葉樹・広葉樹製紙用チップ 製紙用木材パルプ バイオマス関連
物資・ ライフスタイル部		消費財		Nike製品を含む各種消費財等

- 当本部は、衣食住の「衣」と「住」の分野において、繊維資材、繊維製品、木材製品、紙パルプ、各種消費財という幅広い領域で事業展開を行っている。また、ライフスタイルの多様化に対応した消費財及び産業資材の供給基盤を構築していく。
- これまで生活に密着した幅広い商品とビジネスを通じ、消費者を含む多くの顧客と取引を行ってきた強みを活かし、ライフスタイルの変化をいち早くとらえた新しい価値や機能を提案していきたい。
- いずれの領域においても、長年に及ぶ取引を通じて、顧客・事業基盤、商品、業界に対する高い知見を有している。
- 特に、木材製品、輸入合板、製紙原料チップ、縫製OEMの生産管理及びテキスタイル販売事業では国内市場でトップクラスのポジションにある。



## 主要事業



## 繊維事業

- ◆日本のリーディング小売企業と当社黎明期から衣料品OEMの受託を通じた強固な関係を構築
- ◆中国の合弁縫製工場を中心にベトナム、カンボジア、インドネシアなどにおいて製造を受託、連結子会社と連携し、素材からの企画提案も実行



- 繊維事業については、日本のリーディング小売企業と黎明期から衣料品のOEMの受託を通じ、強固な関係を構築している。長年の取引を通じた国内外の優良な生産拠点からの供給において、顧客の要望や顧客が直面する問題に対し、企画提案を行っている。
- また、子会社の双日ファッションでは、グループ会社での生産を含む多種多様なテキスタイルを揃え、小口多頻度のニーズに応えている。





## 林産資源事業

- ◆ 木材製品・輸入合板・製紙原料チップの販売において国内市場トップクラスのポジションを獲得
- ◆ 資源保有からサービス小売まで、広範囲にわたる事業をアジアを中心に構築

事業領域				
資源保有	製造・加工	トレード	卸・小売	サービス
製紙用植林事業	チップ製造事業、 段ボール箱製造、 製袋事業、国内合板	チップ・パルプ・原木・製材建 材の輸入・三国間取引、紙・ 板紙・他紙製品の輸出・輸 入	製紙用パルプ、古紙 紙・板紙・他紙製品の 卸売 建材他の卸売	梱包・包装の企画提案 建築工事の設計・請負



- 木材事業については、木材製品・輸入合板・製紙原料チップの販売において国内市場トップクラスのポジションを獲得し、資源保有からサービス小売りまで広範囲にわたる事業をアジアを中心に構築している。
- 双日建材は、当事業の中核を担う子会社で、国内トップクラスの建材販売商社である。日本国内の合板販売では業界最大手の1社として、建材市場における確固たる顧客基盤を築いてきた。
- また、チップ事業では、製紙会社に向けた安定原料供給を目的とし、1993年に設立したベトナムでのチップ加工工場を中心に、チップの製造・販売を行っている。設立当時からベトナム地域社会・農民参加型の植林を通じ、環境面、経済面で、地域社会性にも貢献している。



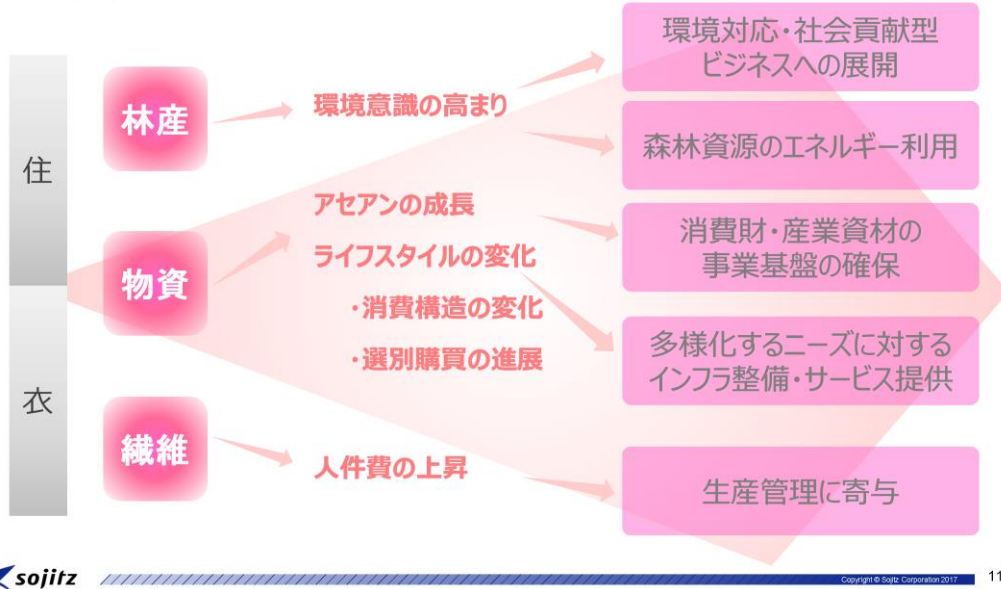
持続的成長に向けて





## 成長戦略コンセプト

既存事業の維持・強化、環境対応・社会貢献型ビジネスへの展開により持続的成長を目指します



- 当本部は、既存事業の維持・強化、環境対応・社会貢献型ビジネスへの展開により、持続的成長を目指している。
- 今後国内市場は人口減少とともに縮小傾向にあるため、既存事業においては効率化による収益力の維持・拡大に努めると共に、成長産業、成長市場への新規投資を含めた取組みを進めていく。
- 具体的には、林産領域では国内外で環境・社会問題への意識が高まっており、これを意識した資材調達を他社に先駆けて進めていくと共に、森林資源のエネルギー利用といった事業にも取り組んでいく。
- 物資や繊維といった産業資材、消費財分野においては、アセアンを中心とした新興国における中間所得層の拡大を狙った取組みを進める。
- また、日本を含めた先進国では、ライフスタイルや消費構造の変化が進んでおり、このような環境変化に対応した取組みにビジネスチャンスがあると考えている。



## 環境対応・社会貢献型ビジネスへの展開

### ◆双日グループにおいて

トレーサビリティが確認できる調達木材の取扱を2020年度までに100%へ



Copyright © Sojitz Corporation 2017

12

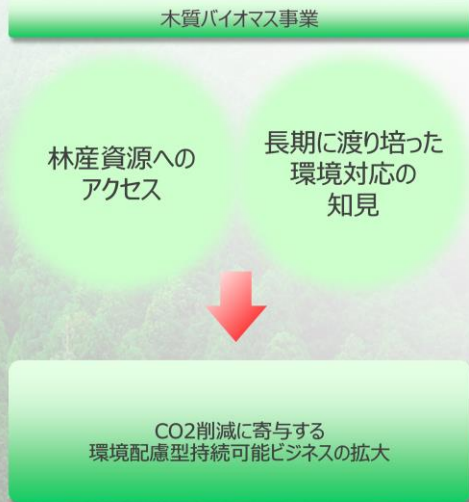
- 双日グループは、環境への配慮を重視し、トレーサビリティが確認できる調達木材の取扱いを2020年までに100%にする計画である。
- 当グループでは、サプライチェーンにおけるCSRの取組みを進めるため、2010年4月に「サプライチェーンCSR行動指針」を定めているが、木材分野でも責任ある木材の調達を行うため、2015年9月に「木材調達方針」を策定した。
- 今後、当グループ木材調達方針に基づく調達を進め、2020年までにレベルDの木材をゼロにする。
- また、将来的には、トレーサビリティが確認されているのみならず、環境・社会面にも配慮した森林管理の適切性が確認できる、レベルA及びBの木材取扱い100%の達成を目指す。
- 総合商社として先進的に達成目標を明確に持った木材調達方針を打ち出し、積極的に環境負荷を低減する商品を扱うことで、顧客の要望に応え、既存トレードの強化及び新規事業の構築を行う。



## 森林資源のエネルギー利用

- ◆ 2030年に政府が目指すエネルギーミックス電源構成、社会の環境対応への要求に着目
- ◆ 拡大が見込まれる木質バイオマス事業への事業領域拡大を検討

国内総発電電力量のうち  
再生可能エネルギーが占める割合の変化  
(%)



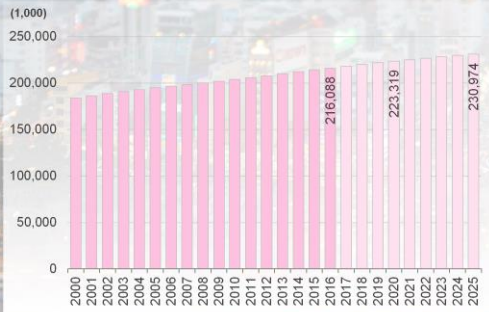
- 2030年に政府が目指すエネルギーミックス電源構成、社会の環境対応への要求に着目し、拡大が見込まれる木質バイオマス事業への事業領域拡大を検討している。
- 日本政府は、2030年のエネルギーミックスを昨年発表しているが、環境負荷を低減すべく再生可能エネルギーの電源を大幅に増やす計画となっており、中でもバイオマス発電事業は3.7%-4.6%を占める見込み。
- 特に、木質バイオマス発電事業は木質燃料を使用し、バイオマス発電事業の根幹となっており、長期安定供給が求められる。
- 当本部は半世紀に及ぶ林産事業から得た森林資源へのアクセスと、これまでの環境配慮型ビジネスの知見を活用し、CO2削減に寄与する森林資源エネルギーのサプライチェーンにおける取組みを行い、環境負荷の低いエネルギー電源の確保に寄与したいと考えている。



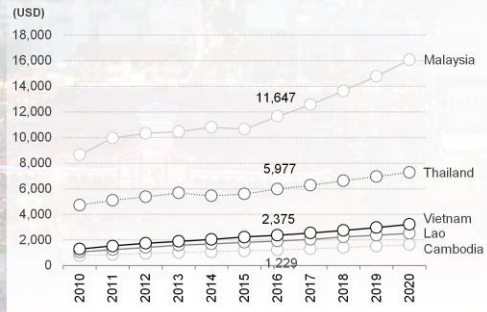
## 消費財・産業資材の事業基盤の確保

- ◆ 力強い成長を続けるアジア、特に若年人口が多く消費活動に積極的なアセアン地域に着目
- ◆ 各種消費財や、関連資材などの需要の拡大に対応した事業を活用して創出

インドシナ地域の人口推移



インドシナ地域の一人あたり名目GDP



- 力強い成長を続けるアジア、特に若年人口が多く消費活動に積極的なアセアン地域に着目しており、各種消費財や、関連資材などの需要の拡大に対応した事業を活用して創出していく。
- 人口増加とGDP拡大に伴い、アセアンにおいては消費活動に積極的とされる中間層の形成が進み、日用品などの消費財の需要が拡大している。
- 拡大する消費をターゲットとして、従来の輸出型産業に加えて、内需型産業の進出も拡大してきた。
- このような背景の下、包装資材に対する需要が、量的にも質的にも拡大している。当本部は、この分野を注力分野と定め、既存の関連会社における製造設備の増強や、M&Aを通じて、供給能力の拡大に取り組んでいく。



## 多様化するニーズに対するインフラ整備・サービス提供

安心・安全な商品を価値ある価格で提供するとともに  
個別のニーズに合わせた商品・サービスを企画・設計し提供する



### 国内市場の重要性

家族構成、ライフスタイルの変化



新たなビジネスチャンス

選択的消費の拡大



新規事業、パートナーシップの構築

- 昨今の多様化するニーズに対して、インフラを整備し、安心・安全な商品を価値ある価格で提供するとともに、個別のニーズに合わせた商品・サービスを企画・設計、提供していく。
- 国内市場は、人口の減少に伴って中長期的には市場規模の縮小が予想されるが、依然、世界有数の規模であり、重要な市場であると認識している。
- 共働き世帯の増加や少子化による家族構成の変化、ライフスタイルの変化は当本部にとって、新たな事業やビジネスのチャンスであると考えている。
- 中でもすっかり家族の一員としての位置づけが定着した感のあるペットや、日用品への支出は絞りながらも、ここぞと思う分野には惜しまず支出するという選択的消費の拡大に注目しており、この分野でのパートナーシップの構築、新規事業の構築を進め、より豊かで望ましい未来の構築に貢献していきたい。



*New way, New value*

- 当生活資材本部は、従来のトレード事業を中心に維持・強化を図ると同時に、持続的な成長を目指して周辺環境の変化に応じた施策を推進している。
- 早ければ17年度、遅くとも次期中期経営計画期間中には、こうした持続的な成長の為の施策が結果を出してくると考えている。